

第四次国有林野施業実施計画書

(十勝森林計画区)

計画期間 (自 平成26年4月 1日
至 平成31年3月31日)

策定年月日：平成26年3月28日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	8
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	9
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	14
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	15
	(2) フィールドの提供	17
	(3) 森林共同施業団地	18

別表 保護林及び緑の回廊・レクリエーションの森等の箇所別一覧表

保護林

緑の回廊

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

- 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。
- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (1) 伐採造林計画簿
伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	11,310	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	9,020	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	5,240	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	26,922	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	15年	
育成天然林施業群	104,982	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	57,883	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	215,357			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	898	443	1,231	8,961	34,994	19,294

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
山地災害防止タイプ	5,278	(2,098) 73,415	78,693			
自然維持タイプ	-	(114) 4,864	4,864			
森林空間利用タイプ	453	(176) 6,879	7,332			
快適環境形成タイプ	-	-	-			
水源涵養タイプ	単層林	(3,160) 43,787	154,295	198,082		
	長期単層林	(3,032) 6,651	122,194	128,845		
	複層林	(1,627) 54,058	66,307	120,365		
	混交林	(6,889) 8,941	335,801	344,742		
	育成天然林	(342) 78,489	13,645	92,134		
	天然生林	-	-	-		
	計	191,926	(15,050) 692,242	884,168		
合 計	197,657	(17,438) 777,400	975,057	185,000	1,160,057	-
年 平 均	39,531	(3,488) 155,480	195,011	37,000	232,011	-

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
帯 広 市	1,763	(532) 18,430	20,193			
音 更 町	-	-	-			
士 幌 町	-	-	-			
上 士 幌 町	5,709	(1,286) 47,719	53,428			
鹿 追 町	563	(661) 22,654	23,217			
新 得 町	2,944	(3,385) 124,036	126,980			
清 水 町	3,866	(494) 18,518	22,384			
芽 室 町	4,062	(753) 25,976	30,038			
中 札 内 村	482	(267) 7,416	7,898			
更 別 村	5,094	(91) 2,996	8,090			
大 樹 町	7,620	(1,485) 50,159	57,779			
広 尾 町	1,137	(1,323) 51,669	52,806			
本 別 町	41,137	(748) 44,455	85,592			
足 寄 町	87,813	(4,147) 239,537	327,350			
陸 別 町	35,467	(2,266) 123,835	159,302			
合 計	197,657	(17,438) 777,400	975,057			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	9	-	1	-	70	80
	複層林造成	183	-	-	-	900	1,083
	計	192	-	1	-	970	1,163
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	318	318
	天然下種第2類	-	-	-	-	2,188	2,188
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	2,506	2,506
合 計		192	-	1	-	3,476	3,669

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	1,738	-	15	-	19,616	21,369
	つる切り	62	102	10	-	2,456	2,630
	除伐	41	67	6	-	1,636	1,750

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
十勝東部森林管理署						
その他	開設	岩口の沢	1	2,000		足寄町
		上足寄苗畑	61	2,000		足寄町
		71林班	71	2,200		足寄町
		オオヒラの沢	86	2,600		足寄町
		小原の沢支線	124, 146	2,500		足寄町
		陸別越連絡支線	131	2,200		足寄町
		稲牛歩道の沢	148	1,200		足寄町
		稲牛歩道の沢支線	149	720		足寄町
		芽登川2の沢支線	308	2,000		足寄町
		317林班	317	2,000		足寄町
		パンケ仙美里第2支線	235, 237	2,300		本別町
		パンケ仙美里	241	1,800		本別町
		仙美里平和連絡	241, 146, 149	2,220		本別町
		奥村の沢支線	1012, 1014	2,000		陸別町
		直志の沢	1022, 1024	7,240		陸別町
		取布朱九ノ沢	1044	2,000		陸別町
		入の沢	1123	2,800		陸別町
		勲禰別連絡	1124, 1125	1,800		陸別町
		下勲禰別	1131	2,000		陸別町
		太勲支線	1139, 1142	2,200		陸別町
		太辛連絡	1150, 1153, 1154	2,800		陸別町
計		21 路線		48,580		
十勝西部森林管理署						
基幹	開設	上羽帯	38, 39	2,500		清水町
		羽帯	29	2,500		清水町
計		2 路線		5,000		
その他	開設	羽帯支線	30	2,500		清水町
		旭山第1支線	42, 43	2,000		清水町
		トヨタ川	33, 34, 35	2,500		清水町
		伏美	274, 275	2,000		芽室町
		雄馬別	282	1,000		芽室町
		雄馬別支線	283, 284	2,000		芽室町
		梅の沢分線	311	1,000		帯広市
		左の沢	316	3,000		帯広市
		クルツペナイ沢	338	1,500		帯広市
		広田の沢支線	339	2,500		帯広市
		379林班線	379	1,850		中札内村
		ポン3の沢	2091	1,500		大樹町
		2085林班線	2085	1,700		大樹町
		カムイコタン	2115, 2116	3,124		大樹町
		中の川支線	2059, 2060	3,000		大樹町
		下豊似左岸	1035	2,000		広尾町
		ペンケ音調津川	1128, 1129	2,000		広尾町
		1130林班線	1130	1,800		広尾町
音調津支線	1136	2,000		広尾町		
計		19 路線		38,974		

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
基幹	改良	上美生	260, 261, 262, 267, 268	1,500	3	芽室町、溝渠工
		元更別	380, 379	1,000	2	中札内村、溝渠工
		ピリカペタン沢	301, 302	1,000	2	帯広市、溝渠工
		岩内川	323, 325, 326, 329, 330	1,000	2	帯広市、溝渠工
		昭徳	2107~2110, 2093	1,000	2	大樹町、護岸工
		中の川	2060~2064, 2074, 2075, 2077, 2078	2,000	3	大樹町、溝渠工
		紋別川	2133~2137	1,500	3	大樹町、護岸工
		歴舟川支流	2036~2039, 2041, 2046, 2047	1,000	2	大樹町、溝渠工
		音調津	1135, 1132	500	2	広尾町、法面工
		楽古川	1069~1071, 1076~1078	2,000	3	広尾町、溝渠工
		東広尾川	1108, 1109, 1113, 1114	600	2	広尾町、溝渠工
	計	11 路線		13,100	26	
その他	改良	深沢	280, 281	1,000	2	芽室町、溝渠工
		瀧の沢	275, 280	1,000	2	芽室町、溝渠工
		広田の沢	338, 339	600	2	帯広市、溝渠工
		左の沢	315, 316	1,000	2	帯広市、法面工
		館山	2130	2,000	4	大樹町、溝渠工
		ペンケナイ	2118, 2120, 2121, 2122	1,000	2	大樹町、溝渠工
		紋別川第3支線	2133	1,000	2	大樹町、護岸工
		パンケナイ	2122~2125	1,000	3	大樹町、溝渠工
		住吉	2081~2084	1,000	2	大樹町、護岸工
		熊の沢	2003, 2004	500	1	大樹町、護岸工
		音調津支流	1127, 1128	600	2	広尾町、溝渠工
		万岩山	1125	500	2	広尾町、溝渠工
		野中	1052, 1053	1,000	2	広尾町、溝渠工
		パンケハヤニ支線	1002, 1003	500	2	大樹町、護岸工
	計	14 路線		12,700	30	
十勝西部森林管理署東大雪支署						
基幹	開設	奥瓜幕2号	2111, 2109, 2107	4,700		鹿追町
	計	1 路線		4,700		
その他	開設	西栄2号	3, 4, 5, 6, 8	5,000		上士幌町
		サラツキ支線	2101, 1333	2,000		鹿追町
		佐幌3の沢	2061, 2062	2,000		新得町
		佐幌4の沢	2057, 2061	4,000		新得町
		屈足オソウシ第2支線	1331, 1332, 1333	6,500		新得町
		ペンケニコロベツ第1支線	1038, 1039	5,600		新得町
		ペンケニコロベツ第1分線	1035, 1036, 1040, 1039	6,500		新得町
		ペンケニコロベツ第2支線	1058~1060, 1066	4,500		新得町
	計	8 路線		36,100		
基幹	改良	第2然別本流	2120	210	1	鹿追町、法面保護工
		シートカチ支線	1161, 1174	50	1	新得町、橋梁架替
		ペンナイ	1064, 1071, 1072	100	4	新得町、擁壁工・排水施設工
		パンケキナウシ	1085	120	2	新得町、橋梁架替・擁壁工
		パンケニコロベツ	1014	90	2	新得町、法面保護工
		パンケニコロベツ1の沢	1032, 1033	80	3	新得町、排水施設工
		ニペソツ	1269	30	1	新得町、擁壁工
	計	7 路線		680	14	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
その他	改良	清水谷	32	100	1	上士幌町、法面保護工
		5の沢メトセツプ支線	57	30	1	上士幌町、擁壁工
		湯擬谷	1075	40	1	新得町、擁壁工・排水施設工
		ペンケニコロベツ4の沢	1054	40	2	新得町、擁壁工・排水施設工
		近別第3支線	1129	90	1	新得町、橋梁架替
		近別第4支線	1113	439	1	新得町、橋梁架替・護岸工
	計	6 路線		739	7	
森林計画区合計						
開設	基幹	3 路線		9,700	/	
	その他	48 路線		123,654		
	計	51 路線		133,354		
改良	基幹	18 路線		13,780	40	
	その他	20 路線		13,439	37	
	計	38 路線		27,219	77	

注)災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
十勝東部森林管理署				
13林班	保全施設	溪間工	1箇所	足寄町
56林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
147林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
205林班	保全施設	溪間工	1箇所	本別町
210林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
213林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
213林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
218林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
228林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
229林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
230林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
209林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
147林班	保全施設	山腹工	1箇所	足寄町
十勝西部森林管理署				
310林班	保全施設	溪間工	1箇所	帯広市
322林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
1066林班	保全施設	溪間工	1箇所	広尾町
1067林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1068林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
1095林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1144林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
2061林班	保全施設	溪間工	3箇所	大樹町
2077林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
2078林班	保全施設	溪間工	2箇所	〃
2080林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
2081林班	保全施設	溪間工	3箇所	〃
2115林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
370林班	保全施設	山腹工	1箇所	中札内村
1002林班	保全施設	山腹工	1箇所	広尾町
1030林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1032林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1066林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1068林班	保全施設	山腹工	2箇所	〃
1142林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1143林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
1144林班	保全施設	山腹工	2箇所	〃
1145林班	保全施設	山腹工	2箇所	〃
2131林班	保全施設	山腹工	3箇所	大樹町
26林班	保安林の整備	植栽工	39 ha	清水町
1143林班	保安林の整備	本数調整伐	19 ha	広尾町
十勝西部森林管理署東大雪支署				
68林班	保全施設	溪間工	1箇所	上士幌町
70林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
151林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1101林班	保全施設	溪間工	1箇所	新得町
1185林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1260林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1293林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1320林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1321林班	保全施設	溪間工	1箇所	〃
1327林班	保全施設	山腹工	1箇所	〃
32林班	保安林の整備	植栽工	2 ha	上士幌町
森林計画区合計	保全施設	溪間工	41箇所	
		山腹工	19箇所	
		計	60箇所	
	保安林の整備	植栽工	41 ha	
		本数調整伐	19 ha	
		計	60 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系保護地域	十勝西部森林管理署				
	日高山脈 森林生態系保護地域	既設	69,012.40	別表 参照	原生的な天然林を保存することにより、 森林生態系からなる自然環境の維持、動 植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究 などに資することを目的とする。
	(保存地区)		35,217.42		
	(保全利用地区)		33,794.98		
	計		69,012.40		
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	大雪山 森林生態系保護地域	既設	33,825.91	別表 参照	エゾマツ・トドマツの北方常緑針葉樹 をはじめとする多様な森林群落が原生的 状態で大規模なまとまりをもって存する 当該地域の森林を保護することにより、 森林生態系を中心とした自然環境の維 持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学 術研究などに資することを目的として設 定する。
	(保存地区)		14,455.79		
	(保全利用地区)		19,370.12		
	計	33,825.91			
森 林 計 画 区 計	2箇所	102,838.31			
(保 存 地 区)		49,673.21			
(保 全 利 用 地 区)		53,165.10			
森林生物遺伝資源保存林	十勝西部森林管理署				
	日高山脈東部 森林生物遺伝資源保存林	既設	8,727.99	別表 参照	森林と一体となって自然生態系を構成す る生物の遺伝資源を森林生態系内に保存 し、将来の利用可能性に資する森林。
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	十勝川上流 森林生物遺伝資源保存林	既設	16,302.58	別表 参照	森林と一体となって自然生態系を構成す る生物の遺伝資源を森林生態系内に保存 し、将来の利用可能性に資する森林。
森 林 計 画 区 計	2箇所	25,030.57			
林木遺伝資源保存林	十勝東部森林管理署				
	帯広ミズナラ24 林木遺伝資源保存林	既設	9.05	別表 参照	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希 少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系 内に広範に保存する。
	帯広モンゴリナラ25 林木遺伝資源保存林	既設	5.11	別表 参照	
	帯広アサダ26 林木遺伝資源保存林	既設	21.15	別表 参照	
	帯広ヤチダモ27 林木遺伝資源保存林	既設	1.21	別表 参照	
	帯広コオノオレ28 林木遺伝資源保存林	既設	8.08	別表 参照	
	帯広ハリギリ29 林木遺伝資源保存林	既設	9.30	別表 参照	
帯広イヌエンジュ30 林木遺伝資源保存林	既設	5.00	別表 参照		

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
林木遺伝資源保存林	十勝西部森林管理署				
	帯広ミズナラ16 林木遺伝資源保存林	既設	1.96	別表 参照	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する。
	帯広カシワ17 林木遺伝資源保存林	既設	5.11	別表 参照	
	帯広ダケカンバ18 林木遺伝資源保存林	既設	3.95	別表 参照	
	帯広ミズナラ19 林木遺伝資源保存林	既設	5.80	別表 参照	
	帯広トドマツ20 林木遺伝資源保存林	既設	5.48	別表 参照	
	帯広イタヤカエデ21 林木遺伝資源保存林	既設	9.38	別表 参照	
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	帯広シラカンバ22 林木遺伝資源保存林	既設	4.80	別表 参照	森林生態系に係わる主要林業樹種及び希少樹種などの生物遺伝資源を自然生態系内に広範に保存する。
	帯広ケヤマハンノキ23 林木遺伝資源保存林	既設	7.62	別表 参照	
	帯広ミズナラ12 林木遺伝資源保存林	既設	2.14	別表 参照	
	帯広シナノキ13 林木遺伝資源保存林	既設	14.93	別表 参照	
	帯広トドマツ15 林木遺伝資源保存林	既設	14.05	別表 参照	
	森 林 計 画 区 計		19箇所	134.12	
植物群落保護林	十勝東部森林管理署				
	喜登牛 植物群落保護林	既設	184.96	別表 参照	北海道の希少野生動植物に指定されており、十勝北部内陸に生息する当該種は、他地域のものとは遺伝的に異なるため、遺伝子の多様性の観点から個体及び生息地の保護を図る。
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	東ヌプカウシ コマクサ保護林	既設	14.69	別表 参照	我が国におけるコマクサ生息地は、高山帯に限られているというのが定説であり、本箇所のようにダケカンバ林の亜高山帯まで下降する例は珍しく、コマクサの垂直分布のみならず、地史的分布を考える上で当群落の存在は非常に貴重なものである。
森 林 計 画 区 計		3箇所	199.65		

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
特定動物生息地保護林	十勝東部森林管理署				
	シマフクロウ 生息地保護林	既設	1,290.31	※非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り学術研究等に資する。
		既設	1,173.62	※非公開	
	十勝西部森林管理署東大雪支署				
	シマフクロウ 生息地保護林	既設	693.23	※非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り学術研究等に資する。
	森 林 計 画 区 計		3箇所	3,157.16	
特定地理等保護林	十勝東部森林管理署				
	マンガン鉱床 保護林	既設	5.13	別表 参照	地上でマンガンが形成される世界的にも貴重な箇所で、平成12年には国の天然記念物にも指定されている。特異な地形・地質等の保護を図り、学術研究に資する。
	森 林 計 画 区 計		1箇所	5.13	
森 林 計 画 区 合 計		28箇所	131,364.94		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新設・ 既設	延長	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	特 徴 等
十勝西部森林管理署東大雪支署					
大雪・日高 緑の回廊	既設	57km	11,847.01	別表 参照	野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、大雪山森林生態系保護地域と日高山脈森林生態系保護地域を結ぶ緑の回廊である。
森 林 計 画 区 合 計		1箇所	11,847.01		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考	
自然休養林	十勝東部森林管理署									
	雌阿寒 オンネトー 自然休養林 * (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	12.66 606.92 597.66	別表 参照	自然探勝、キャン プ、温泉浴及び森林 と山岳との自然景観 の利用に供するた め。	複 天	旅館外 (民間) 駐車場外 (足寄町)	歩道 延長 4,250m 外	「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
	計		1,217.24							
	十勝西部森林管理署東大雪支署									
	トムラウシ 自然休養林 (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	60.36 1,019.32 175.40	別表 参照	自然探勝、キャン プ、温泉浴及び森林 と山岳との原始的な 自然景観の利用に供 するため。	複 天 間伐 1.60 ha	駐車場外 (北海道) 園地外 (新得町)		「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
	計		1,255.08							
	然別 自然休養林 * (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	6.97 1,691.09 238.57	別表 参照	自然探勝、キャン プ、温泉浴及び森林 と湖水との自然景観 の利用に供するた め。	複 天	展望台外 (北海道) 温泉施設 外(民間)		「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
	計		1,936.63							
	森林計画区計	3箇所	4,408.95							
	自然観察教育林	十勝西部森林管理署								
国見山 自然観察教育林		既設	65.67	別表 参照	帯広市の近郊林で外 国樹種等の人工林と天 然林が織りなす優れた 景観を自然観察、教育 の場としての利用に供 するため。	単 複 天		歩道 延長 8,300m 外	保健機 能森林 に該当 する森 林	
カムイコタン 自然観察教育林		既設	223.16	別表 参照	溪流、渓谷の特異な 地形と森林が織りなす 自然景観に恵まれ、鳥 類も多く自然観察、教 育の場としての利用に 供するため。	複 天 間伐 7.02 ha		遊歩道 延長 3,329m 外	保健機 能森林 に該当 する森 林	
森林計画区計		2箇所	288.83							
野外スポ ーツ地域	十勝西部森林管理署東大雪支署									
	ぬかびら 野外スポーツ地域	既設	329.12	別表 参照	温泉、湖、山岳、 森林等の資源を有し ており、登山、スキ ー等、四季を通じたレ クリエーションの場と しての利用に供するた め。	複 天	スキー場 (民間) 管理棟 (上士幌 町) 園地外 (北海道)	野営場 4.37ha外		
	佐幌岳 野外スポーツ地域	既設	488.38	別表 参照	山岳、森林、河川 等、四季折々の自然 美を有し、自然探 勝、登山、スキー 等、四季を通じたレ クリエーションの場 としての利用に供す るため。	複 天 間伐 12.83 ha	スキー場 (民間)			
	森林計画区計	2箇所	817.50							

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風景林	十勝東部森林管理署									
	義経山風景林	既設	458.33	別表参照	町の背景林として、特異な地形と森林景観を有する市街近郊林の維持・造成を図るため。	複天 主伐1.00ha 間伐9.96ha	公園園地外(本別町)			
	宮の森風景林	既設	84.69	別表参照	町の背景林として、森林の自然美を有する市街近郊林の維持・造成を図るため。	複天	遊歩道外(陸別町)			
	雌阿寒風景林	既設	2,240.76	別表参照	オンネトーの背景林として、雌阿寒の優れた自然景観の維持・造成を図るため。	複天	旅館外(民間) 駐車場外(足寄町)	歩道延長4,250m外		
	十勝西部森林管理署									
	えりも風景林	既設	205.26	別表参照	太平洋沿岸の断崖絶壁の景勝地域の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため。	複天				
	ピョウタンの滝風景林	既設	195.76	別表参照	渓谷、溪流と森林美が織りなす優れた景観の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため。	複天	園地外(中札内村)			
	伏美仙峡風景林	既設	19.52	別表参照	渓谷、溪流と森林美が織りなす優れた景観の維持・造成を図るとともに国民の利用に供するため。	天				
	日勝風景林	既設	776.09	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため。	複天 間伐8.15ha	展望台外(清水町) 売店(民間)			
	十勝西部森林管理署東大雪支署									
	十勝ダム風景林	既設	1,565.10	別表参照	人造湖(十勝ダム)の背景林として、人工林と天然林が織りなす優れた自然景観の維持・造成を図るため。	複天 間伐30.72ha	温泉施設外(民間)			
	然別湖風景林	既設	3,293.87	別表参照	然別自然休養林の背景林として、然別湖を核とした優れた自然景観の維持・造成をはかるため。	複天				

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
風景林	ウペペサンケ風景林	既設	1,774.48	別表参照	遠景林として、大雪山系の山岳と天然林が織りなす四季折々の自然美の景観の維持・造成を図るため。	複天				
	佐幌岳風景林	既設	468.50	別表参照	近景林として、スキー場、保養施設を核とした利用施設の維持・造成を図るため。	複天				
	クマネシリ風景林	既設	965.10	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため。	複天				
	ニペソツ風景林	既設	1,789.07	別表参照	遠景林として、山岳と森林、動植物等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため。	複天				
	ぬかびら温泉風景林	既設	5,287.59	別表参照	近景林として、山岳、森林、湖等の自然資源を有する森林の維持・造成を図るため。	複天 間伐 56.73 ha				
	森林計画区計	14箇所	19,124.12							
風致探勝林	十勝西部森林管理署東大雪支署									
	佐幌岳風致探勝林	既設	48.71	別表参照	佐幌岳からの展望、自然探勝、散策等の場として国民の利用に供するため。	複天 間伐 9.94 ha			保健機能森林に該当する森林	
	然別峡風致探勝林	既設	252.39	別表参照	山岳、森林、溪流等の自然景観に恵まれ、登山、自然探勝、温泉浴等の場として、国民の利用に供するため。	複天	野営場外(鹿追町)温泉施設(民間)		保健機能森林に該当する森林	
	ほろか温泉風致探勝林	既設	192.11	別表参照	森林、河川、山岳等四季折々の景観を有し、登山、自然探勝、温泉浴等の場として、国民の利用に供するため。	複天	旅館2棟(民間)		保健機能森林に該当する森林	
森林計画区計	3箇所	493.21								
森林計画区合計	24力所	25,132.61								

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考	
遺伝子保存林	十勝東部森林管理署				材木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。	
	アカエゾマツ足寄102B	昭和50年	4.19	69 の		
	トドマツ上足寄	昭和52年	9.55	88 わ2		
	アカエゾマツ茂足寄	昭和50年	1.03	91 と		
	アカエゾマツ足寄56A	昭和50年	5.99	91 ち		
	アカエゾマツ足寄102C	昭和51年	2.44	91 よ		
	アカエゾマツ足寄56B	昭和50年	1.88	91 よ2		
	トドマツ仙美利	昭和48年	2.88	242 ほ1		
	アカエゾマツ本別A	昭和50年	4.17	242 ち1		
	アカエゾマツ本別B	昭和51年	1.28	243 た2		
	アカエゾマツ本別C	昭和51年	4.03	243 わ1		
	十勝西部森林管理署					
	ドロノキPS3	平成2年	0.29	1001 に1		
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
クロエゾマツ新得	昭和50年	7.04	1043 と1			
トドマツ新得	平成2年	4.17	1060 ろ			
森 林 計 画 区 計	13箇所	48.94				
検定林	十勝東部森林管理署				試植検定林は、外国からの導入樹種や在来品種の林分特性、立地適応性等の検定する林分である。次代検定林は親木の評価を目的に子供群を植栽し、親木間に現れる形質上の優劣差を検定する林分である。	
	北適応帯4号(試植検定林)	昭和54年	1.37	106 ち		
	北帯3号(遺伝試験林)	昭和56年	1.02	131 く1		
	北帯7号(地域差検定林)	昭和63年	5.46	313 ろ1		
	北帯16号(地域差検定林)	平成4年	2.00	132 お2		
	北帯5号(一般次代検定林)	昭和60年	7.51	1031 の1		
		計	0.53	1031 の3		
	計		8.04			
	十勝西部森林管理署					
	北適応帯6号(試植検定林)	平成3年	0.50	1082 ろ2		
	北帯11号(地域差検定林)	昭和63年	5.50	2125 い1		
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
	北適応帯1号(試植検定林)	昭和49年	1.94	2006 め		
	北適応帯7号(試植検定林)	平成2年	2.51	1180 ろ5		
		0.15	1180 ろ7			
計		2.66				
北帯18号(地域差検定林)	平成4年	2.39	30 め1			
森 林 計 画 区 計	10箇所	30.88				
施業指標林	十勝東部森林管理署				積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である。	
	天然林(針広混交林)施業指標林	平成5年	9.03	28 い1		
	トドマツ樹下植栽と複層林施業指標林	平成5年	5.13	231 れ		
	十勝西部森林管理署					
	ミズナラ二次林施業指標林	平成5年	14.11	1121 こ		
			2.00	1121 こ1		
			16.00	1121 こ2		
計		32.11				
十勝西部森林管理署東大雪支署						
自然環境に配慮した森林施業指標林	平成5年	71.58	2175 に	積極的に推進すべき施業体系、新たに開発された技術等を適用している林分等で、その施業及び技術の普及を図るための指標とする林分である。		
森 林 計 画 区 計	4箇所	117.85				

種類	名 称	設定年	面積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
展示林	十勝東部森林管理署				
	雌阿寒アカエゾマツ 展示林	昭和45年	5.42	56 ろ	雌阿寒山麓にあるアカエゾマツ純林 で、規模・林分内容からみて貴重な ものであるため。
	トドマツ苗展示林	昭和54年	6.07	1021 ち	精英樹系統種苗と従来種苗の成長差 などを造林者等に展示し、育種、種苗 の普及を図るため。
	十勝西部森林管理署				
	相川カシワ展示林	昭和50年	5.11	2053 い	カシワ一斉林で、当森林計画区では 貴重なものであるため。
森林計画区計		3箇所	16.60		
試験地	十勝東部森林管理署				
	天然林成長量固定試験地	昭和25年	1.38	37 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を 把握検討し、地域管理経営計画樹立の 基礎資料を収集するため。
		昭和25年	3.19	38 い	
		昭和34年	3.61	224 い	
	足寄森林施業実験林	昭和25年	0.98	72 い	過熟天然林を生産性の高い択伐林に誘 導する森林施業の基礎資料を収集す るため。
	雌阿寒山麓アカエゾマツ 林分試験地	昭和40年	2.56	102 ほ	アカエゾマツ択伐施業林と原生林の成 長及び更新関係を比較検討し、立地と 林分構造の相関性の解明を行い、アカ エゾマツ天然林施業の基礎資料を収集 するため。
		昭和40年	2.56	102 わ	
		昭和40年	0.11	102 か	
			1.56	102 か1	
		計	0.89	102 か2	
	カラマツ人工林収穫試験地	昭和43年	1.10	231 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を 把握検討し、地域管理経営計画樹立の 基礎資料を収集するため。
		昭和43年	1.16	1192 め1	
	トドマツ人工林収穫試験地	昭和38年	1.00	121 い	成長量、枯死量及び林分構造の推移を 把握検討し、地域管理経営計画樹立の 基礎資料を収集するため。
	アカエゾマツ人工林収穫試験地	昭和38年	1.00	1005 ろ1	
	ミズナラ二次林優良材生 産林分への誘導技術の確 立試験地	平成8年	12.38	318 て	ミズナラ小・中径木を主とする林分を 密度の違いによる林分成長量等の推移 を把握し、価値生産の高い広葉樹施業 方法の確立を図るため。
	十勝西部森林管理署				
	清水カラマツ産地試験地	昭和35年	4.67	15 い	産地による造林成績の差異と諸特性を 調査し、最良の遺伝子を含むものを判 定するため。
十勝西部森林管理署東大雪支署					
カラマツ人工林収穫試験地	昭和41年	1.00	9 る	成長量、枯死量及び林分構造の推移を 把握検討し、地域管理経営計画樹立の 基礎資料を収集するため。	
	昭和42年	0.99	1319 い		
	昭和42年	0.93	2011 し		
トドマツ人工林収穫試験地	昭和39年	1.00	2010 め1	成長量、枯死量及び林分構造の推移を 把握検討し、地域管理経営計画樹立の 基礎資料を収集するため。	
アカエゾマツ人工林収穫試験地	平成9年	1.10	2109 る1		
三股風害跡試験地	昭和31年	20.03	184 は	昭和29年5月及び同年9月の台風等による 被害の代表的風害跡地を保存し、残存木、 稚幼樹、地表植物、倒木の腐朽 等の推移を調査して、風害二次林の成 立過程等について調査するため。	
台風15号（昭和56年） による森林被害調査試 験地	昭和57年	1.35	187 は	昭和56年台風15号による被害の代表的 風害跡地を保存し、残存木、稚幼樹、 地表植物、倒木の腐朽等の推移を調査 して、風害二次林の成立過程等につ いて調査するため。	
	昭和57年	0.72	1090 は1		
		0.93	1091 い		
	計	1.65			
昭和57年	1.23	2119 ほ5			
森林計画区計		22箇所	67.43		

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備 考	
モデル林	十勝東部森林管理署					
	水土保全モデル林	平成12年	0.98	72 い	水源涵養機能を高めるため、成長衰退著しい老齢過熟木や後継樹の成長阻害している形質不良木の多い天然林を択伐の繰り返しにより、成長旺盛な天然林に誘導した森林である。	
	十勝西部森林管理署東大雪支署					
	水土保全モデル林	平成12年	3.66	1162 ろ		
森林計画区計	2箇所	4.64				
森林計画区合計		56箇所	286.34			

注) 備考欄の「収穫試験地施行要綱」とは、現行あるいは将来予想される施業法によって施業した場合の成長量、及び収穫量その他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する目的をもって設定した固定試験地である。

種類	名 称	設定年	設定延長 (m)	位置 (林班)	備 考
溪畔プロジェクト保全林	十勝西部森林管理署				
	モデル溪畔林流域 (ベケレベツ川)	平成25年	11,000	17~20	上流域に位置する保護林等を核とした原生的な天然林から下流までの森林の連続性を確保することにより、よりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めるため、検証を行いつつ取組を推進する森林である。
	森林計画区計	1箇所	11,000		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
十勝東部森林管理署		
1026 り1 お	ふれあいの森 (憩いの空間 水源の森)	協定面積137.40ha 陸別町
十勝西部森林管理署		
2115 い~に 2116 い~り	遊々の森 (カムイコタン歴舟の森)	協定面積220.17ha 大樹町教育委員会
十勝西部森林管理署東大雪支署		
198 り1	ふれあいの森 (ミュビゲラの森)	協定面積7.80ha 十勝三股森づくり21
198 ぬ	社会貢献の森 (十勝三股の森)	協定面積0.25ha 十勝三股森づくり21
59 ろ 98 わ	社会貢献の森 (ひがし大雪源流の森づくり)	協定面積0.20ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1051 ろ	社会貢献の森 (源流部の森・ペンケニコロ)	協定面積0.13ha 十勝川源流部を考える会
1196 に 1192 に1	社会貢献の森 (源流部の森・トムラウシ)	協定面積0.50ha 十勝川源流部を考える会
163 い イ	遊々の森 (大雪山ふれあいの森ほろか)	協定面積49.76ha NPO法人ひがし大雪自然ガイドセンター
1301 へ	遊々の森 (トムラ散策路)	協定面積4.40ha 新得町教育委員会
1292ろ・1289は・は1 1126お・お2・1108ほ 1236ろ	多様な活動の森 (トムラウシの森)	協定面積7.00ha (株)ドリームヒル・トムラウシ
森林計画区合計		面積：427.61ha

(3) 森林共同施業団地

名称		対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考
十勝東部森林管理署					
足寄町稲牛・川向地区 森林整備協定	民	316, 326~329	417	施業の集約化	足寄町
	国	140~142, 145~147	1,043		
十勝西部森林管理署					
幸徳地域 森林整備推進協定	民		48	路網の整備と相互 利用	大樹町森林 組合
	国	2081~2085	922		
十勝西部森林管理署東大雪支署					
新得地域森林整備に 関する協定(サホロの森)	民	60, 61	138	間伐・下刈・継続的作業道新 設・林業専用道作設	新得町
	国	2054~2063	2,666		
新得地域森林整備に 関する協定(狩勝の森)	民	41, 50	338	間伐・下刈	新得町
	国	2002~2005, 2051~2052	947		
森林計画区合計	民		941	4箇所	
	国		5,578		
	計		6,519		